

JOCジュニアオリンピックカップ
第42回全日本ジュニアバドミントン選手権大会山形県予選大会
監督・代表者会議資料（改訂版）

<競技上の注意>

1. 本大会は（公財）日本バドミントン協会競技規則、同運営規程及び公認審判員規程により行います。
2. 進行状況に応じて試合開始時刻及びコートを変更する場合があります。
3. 試合が連続する場合のインターバルは10分間とします。
4. 試合の得点は、~~準決勝から21点3ゲームマッチ、その他の試合は、全て~~15点3ゲームマッチとします。
5. シャトルは、1種検定合格球とし、持ち寄りとします。ただし、各種別の準決勝・決勝は主催者で準備します。
6. マッチで色付き着衣を使用する場合は、（公財）日本バドミントン協会の審査合格品とします。上位の背面には、学校名、またはクラブ名（小学生及び県中体連に認められたクラブのみ）を明示してください。背面布を使用する場合は、上衣に4点で留めてください。
7. コート及び競技区域内において、選手、監督及びコーチ等のスマートフォン等の電子通信機器の使用を禁止します。
8. コートサイドには、カゴやドリンクケースを設置しません。給水のためのボトル（ふたつき）、タオル、着替え用ウェア、氷のう等は、すべてラケットバック等に入れ、コートサイドの主審側に置いてください。チェンジエングの際はそのまま持って移動してください。
9. コーチ席は、両コートサイドに2席用意します。コーチ席に座ることができるのは、監督またはコーチ（両方いない場合は参加申込書に記載した申込責任者）とします。ただし、同時に、同一校の複数の選手が競技する場合は、監督またはコーチ以外の者も認めます。着席する者の服装は、公認審判員規定第5条第12項（8）に則り、マッチにふさわしい服装とし、上衣はユニフォーム、襟付きシャツ、ポロシャツ、ブラウス、下衣は長ズボン（榊引会場は空調設備がないため、七分丈も可とします。）またはスカートとしてください。また、スリッパ、サンダルは禁止とします。
10. 空きコートでの練習は禁止します。
11. 選手はコールされたら速やかにコートに入ってください。コールされてから5分経過しても入らない場合は、失格を宣する場合もあります。
12. マッチ中の怪我や病気による中断は、原則としてレフェリーが判断し、相手選手への中断時間を主審に告げます。ただし、鼻血等の出血・嘔吐をした場合は、直ちに中断し、レフェリーの判断により医務役員が対応します。なお、当該選手（又は監督）からの棄権申告については、主審が受理します。

<審判上の注意>

1. 各試合のラインジャッジは、当該選手の試合時に所属校（所属団体）等から各試合1名の協力をお願いします。
2. 原則として、敗者審判制とします。敗者は、当該コートの次の試合について、複は、主審・得点係、単は、主審をお願いします。（選手が主審をできない場合は、選手に代わって監督、コーチ等が行ってください。）オーバールールは公認審判員が主審の際に適用します。準決勝から公認審判員が主審を行います。
3. サービスジャッジは配置しません。なお、主審の目安となるよう、ポールの床面から115cmのところを目印を貼り付けます。

<その他>

1. 棄権の申し出は、申込責任者から県バドミントン協会競技委員長あてにメールで連絡をお願いします。参加料は納付願います。（競技委員長油井：thankyouty7@gmail.com）
2. 試合結果の速報は、Twitter「山形県バドミントン協会競技委員会」で行う予定です。（右図QRコード参照）
3. 競技開始前の練習は、次の割り当てで実施します。（小真木原：~~112面~~→榊引8面）
8：50～9：00 田川地区、飽海地区
9：00～9：10 村山地区 9：10～9：20 最北地区、置賜地区、小学生
4. 監督会議は行いません。開会式は、9：30から選手を観客席に着席のまま実施します。表彰は、各種別終了後に実施します。閉会式は行いません。
5. 後片づけは、鶴岡地区以外の皆さんからも協力をお願いします。

